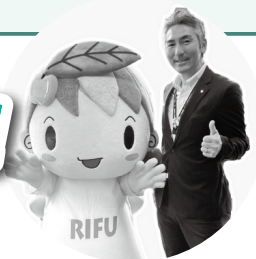


# 教えて、町長さん!! Q&A



## 利府駅の近くにある「tsumiki」って、なあに？

「起業したい」「まちづくりに関わりたい」「気軽に地域とつながりたい」と考えている人にピッタリの場所。誰でも利用することができて、ここでは勉強も仕事もできます。「こ・あきない市」や交流会などのイベントも開催されているので、気になる方はぜひ参加してみてください。

学生の皆さんは、水曜日と金曜日は無料で使えるからぜひ使ってみてね。

### 開館情報

利府町中央1丁目5番地2  
午前9時30分～午後5時30分  
(水・金曜日は午後9時まで)  
休館：火曜日、年末年始  
3時間未満 250円  
3時間以上 500円

☎766-9231



Instagramで最新の情報をチェック

## どうして「tsumiki」という名前なの？

「積み木」のように自由に組み合わせてアイデアや事業が育つ場所という意味から名付けられました。町民の皆さんと一緒にワークショップ形式で「愛称」「ロゴマーク」について話し合い「tsumiki」に決まったんだよ。



### ◀こ・あきない市

手作り雑貨、手作りパンの販売といった個人やグループの小さなビジネスの“ちょっとやってみる”を応援する場となっています。



## 町長コラム

# ベア・パル

### 「開運」

6月24日、ピアニスト、そして米国の大学教授でもある菊池真弓さんの演奏会がリフノスで開催されました。菊池さんとは30年来の「知人」ですが、お会いしたのは初めてでした。菊池さんは私の大学の同級生のお姉さん。大学生の時に彼の実家である浜松に遊びに行った際、真弓さんの話題になりました。お母さまから「真弓はお父さんが早くに亡くなったから、好きだったピアノの道をあきらめていた。大学の時にホームステイで短期間米国に行って、その時、さよならパーティで久しぶりにピアノを弾いたら、パーティに参加していた人に「なんでそんなに素晴らしい腕前なのにピアノをあきらめたの。(続けるために)うちに来なさい」って言われて、それからずっとアメリカで大学に入って音楽家として生きている」と話をされました。なんて素敵なエピソードだろうと感激しまして、私も、特に若い世代の子たちと話す際に「運命ってどこでどう開けていかわからないから、その準備はしっかりとしておこう」と語りかけています。

まだ見ぬ菊池真弓さんが、日本に演奏旅行に出かけるということで同級生が気を利かせ「利府の方で演奏、どうだい」と声をかけてくれ、さらにお嬢さんも一緒だと言います。しかも娘のマリアさんは音楽と平和を愛した

レナード・バーンスタイン氏が北海道で組織した「パシフィックミュージックフェスティバル札幌(PMF)」のオーディションに合格して、北海道へ向かう道すがら利府で立ち寄れるというので、リフノスでの親子鷹演奏が実現しました。また演奏旅行に友達にも声をかけたから、と連れてきてくださったお友達もクリーブランド管弦楽団などで活躍されたバイオリニストさんだったり、人のご縁というのはつながっていくものだなあと改めて運命の妙味に触れました。(真弓さんには「ぜひ、毎年日本に帰国していただいて、利府で音楽合宿を開催してください」とお願いしています。)

今までリフノスで演奏してくださった音楽家の皆さんは世界規模で活躍されるアーティストです。バイオリン製作者の松下敏幸氏、堀米ゆず子氏、オペラ歌手の福田祥子氏、宮下大器氏など名だたる演奏家、歌手がリフノスで公演し、町を気に入ってくださって、さらに利府とのかかわりが深くなるうとしています。町のどこかで常に音楽が奏でられている町、そんな姿を秋の入り口で考えていきたいと思います。

ゆたか

利府町長 熊谷 大

